

2025 年 2 月 28 日

株式会社高島屋

サーチファンドを投資対象とするファンド 「ICJ 1 号ファンドオブサーチファンド」へ出資

中小企業の事業承継と再成長を支援

株式会社高島屋（本社：大阪市中区、代表取締役社長：村田善郎、以下「高島屋」）は、ベンチャーキャピタルファンドの運営を行うインクルージョン・ジャパン株式会社（以下、ICJ）が設立したサーチファンドを投資対象とする「ICJ 1 号ファンドオブサーチファンド投資事業有限責任組合（以下、本ファンド）」へ出資することを決定し、出資契約を締結しましたのでお知らせいたします。

サーチファンドは、次世代の優れた経営者候補（サーチャー）に投資し、中小企業の事業承継と再成長を支援する仕組みです。1980 年代に米国で誕生し、これまで世界中で数百件が設立され、高い投資リターンを生み出してきました。本ファンドでは、ICJ がこれまで培ったサーチャーとのネットワークや支援ノウハウを活用し、事業承継を通じて成長を目指すサーチャーへの投資や、サーチャーが中小企業を買収する際の追加投資を実施してまいります。

当社は、グループ経営理念「いつも、人から。」に基づき、「人を信じ、人を愛し、人につくす」ことを大切にし、社会に貢献してまいりました。また、企業メッセージ「‘変わらない’のに、あたらしい。」には、伝統的な技術・文化や長年培われてきた確かな価値を守り継ぎながら、時代の変化にも柔軟に対応することで新たな価値を生み出していくという当社の想いを込めています。

本ファンドへの出資を通じて、事業承継問題という喫緊の社会課題の解決に取り組むとともに、魅力ある品揃えやグループコンテンツのさらなる充実化を実現するパートナーシップの構築により、事業成長との両立を図ってまいります。

なお、本ファンドへの出資にあたり、出資金の一部は「ESG 自己株式取得」において生じた ESG 拠出金を充当しております。

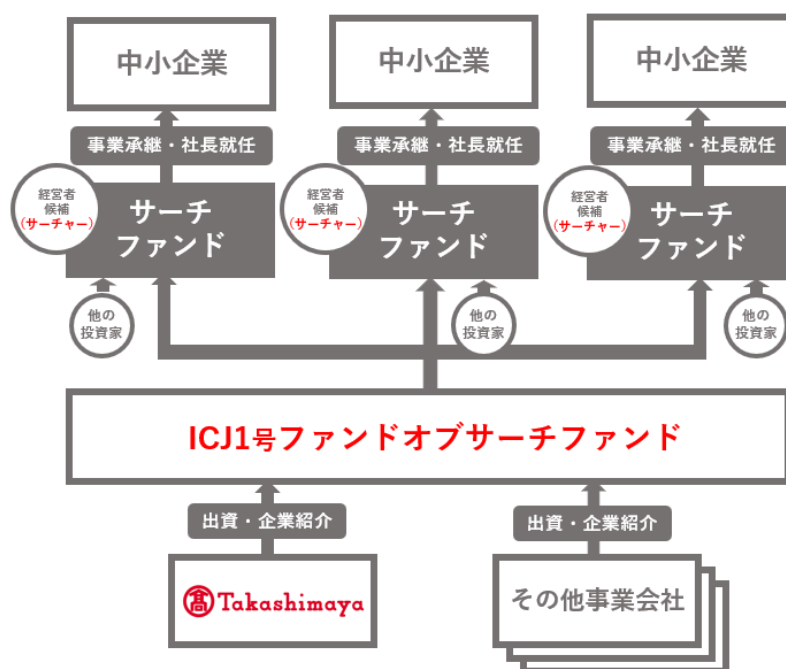
詳しくは 2024 年 10 月 31 日に公表しております「ESG 自己株式取得の採用に関するお知らせ」をご覧ください。

<当社ホームページ>

<https://www.takashimaya.co.jp/base/corp/topics/241031a.pdf>

■ICJ 1号ファンドオブサーチファンドとは？

「ICJ 1号ファンドオブサーチファンド」は、次世代の優れた経営者候補（サーチャー）に投資し、中小企業の事業承継と再成長を支援する仕組みである「サーチファンド」に対して複数の投資を行い、そのリターンを出資者に還元するファンドです。今回新設するベンチャーキャピタルと事業会社によるサーチファンドへの投資スキームは、日本で初めての取り組みとなります。高島屋は、「ICJ 1号ファンドオブサーチファンド」を通じて、サーチファンドへの投資・取引先企業の紹介を行い、中小企業の後継者不足という課題解決を支援します。



■中小企業にとってのサーチファンドの利点

サーチファンドは、後継者不在に悩む中小企業オーナーにとって、単なる M&A の手段を超えた価値をもたらします。最大の特徴は、事業を引き継ぐサーチャー自身が主体となり、オーナーと直接交渉を行いながら企業を選定・買収する点にあります。これにより、オーナーは「顔の見える事業承継」を実現し、企業の理念や文化を尊重しながら、長期的な成長を目指すことが可能となります。また、サーチファンドを活用することで、経営経験豊富な支援者のネットワークを活かし、成長戦略の策定・実行を進められるため、単なる所有権の移行にとどまらず、事業の持続的な発展を実現できます。特に、長期的な視点で競争力を強化し、経営基盤を安定させたい企業にとって、サーチファンドは極めて有効な選択肢となります。

■第一号案件について — ジャパン・リレー・パートナーズ合同会社

本ファンドからの第一号案件として、小林 靖氏が設立したジャパン・リレー・パートナーズ合同会社への投資を予定しています。小林氏は、豊田通商で、同社初のキューバ現地法人を設立し、初代社長として中央政府向けの新規事業開発を手掛けた後、スペインの IESE ビジネススクールで MBA を取得。同校では、日本人として初めてサーチファンドクラブ代表を務めるなど、国際的なビジネス経験を積んできました。

以上